

櫻守の会

平成 30 年 2 月 1 日 (通巻 225 号)

発行: 櫻守の会代表 土井喜夫

〒665-0001 宝塚市長寿が丘 17-45

TEL 0797-86-6020

会員数 123 名 (1 月 25 日現在)

HP : <http://www.sakuramori.net>

2018 年 2 月

運営委員代表 土井 喜夫

最近 地球温暖化と異常気象が話題になっています。年末の TV では 2017 年の世界の異常気象による災害被害は日本円で約 35 兆円との事でした。前年より 60% も多いそうです。

地球を取り巻く大気は酸素が 21%、窒素が 78%、微少ガスが 1% との事です。二酸化炭素は大気中に 0.04% (400ppm) ほど含まれている。この濃度は過去 100 年ですごい勢いで増加し、今後も増え続けると予想されています。地球にもし二酸化炭素が全くなければ、地球の表層温度は -18℃ となり生物は住めない。このガスは太陽からの熱を逃さないことから温室効果ガスとも言われている (その意味では大変ありがたいガスと言えよう)。しかしこの二酸化炭素が増えすぎると地球温暖化が進み、同時に異常気象を発生するようである。後進国の人々の生活環境は大変厳しく、今後エネルギーを伴う生活の改善が進めば二酸化炭素は増えざるを得ない。地球温暖化が進むと南極・北極の氷も解け海面水位が上昇し島国で暮らす人々の生活圏を奪うことになる。

二酸化炭素ガスは発生源対策と吸収源対策に分けて考えられる。発生源対策は脱石炭発電、自動車の電動化など技術革新を伴う脱炭素技術及び先進国の省エネ活動等により二酸化炭素の濃度の上昇は大部改善されるであろう。一方二酸化炭素ガスの吸収源は植物による光合成のみに頼らざるを得ない。動物 (含: 人間) にとっては全くのお手あげで植物さまざまと言わざるを得ない。植物の中でも熱帯雨林の役割が大きいと言われているが、先進国への木材輸出や彼らの生活圏拡大のための焼畑耕作などにより既に熱帯雨林面積は半減しているとの事。

私達森林整備ボランティアは保安林・環境林・レクリエーション林等として森林整備活動をしているが、樹木の光合成をより活性化させ二酸化炭素を十分に吸収させ地球環境にも大いに貢献している。森林が地球環境に貢献していることをよく PR して、仲間を増やしていくことを皆さんと共に頑張りましょう。

1 月に活動地で見つけたいろいろな実



武庫山の森 ノイバラ



ゆずり葉の森 ヒメユズリハ



山手台 フユイチゴ

***** 目 次 *****

表紙	P1	序文
活動報告	P2~P6	桜の園、ゆずり葉の森、青葉台、山手台、武庫山の森
イベント報告	P6	自然観察会
お知らせ・案内	P7~P8	運営委員会報告、公開講座、桜バスツアー休止、武庫川エコハイク
活動予定	P8	2 月、3 月の活動予定

＜活 動 報 告＞

桜の園 (亦楽山荘)

坂田 敬

◆ 2017年12月23日 (土) 晴れ 参加者 24名

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
桜育成	桜の尾根	植樹予定地の整備	4名	陰山
伐採	赤松展望所	(~つつじが丘) ヤシヤブシ、枯れ松の伐採	7名	濱野
伐採	外周路	園路周辺の雑木伐採	9名	吉田
園路整備	周回路	園路の整備・清掃	4名	加賀野

・桜育成

水平作業道のすぐ上の、密生しているブッシュを皆伐しました。まだ少し刈り残しがありますが、新たに桜を植える場所3カ所ほどを確保しました。2015～2016年植樹分で幹折れが多数発生しており、どうやら猪ダンプの突進でやられた様なので猪対策も話し合いました。(陰山)



伐採木での路肩整備 (外周路)

・伐採(赤松展望所)

赤松展望所よりつつじが丘への途中の大きなヤマザクラの周りで作業しました。まずは横になったソヨゴの伐採から作業、ヤマザクラの生育を邪魔しているヤシヤブシ4本をチェーンソーも使用し伐採、折れた枯松の処理を行った。更に移動し傾いた大きなソヨゴを伐採、枝葉処理中に終了予定作業時間となり、急いで山を下りました。(濱野)

・伐採 (外周路)

前々回の倒木、傾斜木等処理でやり残した分をチェーンソーも使って作業した。その内容は四辻近くの倒木枯コナラ、枯松、ソヨゴの伐採・枝葉処理であった。昼食後はヤマザクラ周辺のソヨゴを伐採し、園路から桜が見えるようにした。なお、ササラ谷側にコナラ、サクラの要伐採枯木が残っていたが、時間切れで次回の作業とした。(吉田)



納会で乾杯! (親水広場)

・園路整備

1名はエントランス広場の苗木場の整備を実施、3名は周回路(モミジの道～城が丘～ドングリの道～隔水亭～東屋～桜坂)の落葉をブローア、掃き箒、レイキを使って園路、広場の歩行部分から噴き飛ばした。モミジの道や各広場、桜の道では落葉が何層にも積み重なっていて園路圏外に噴き飛ばすことが難しく、リュックを背負った状態での作業は初め思っていたよりも重労働で時間も掛かった。一般ハイカーの女性、高齢者からは歩き易くなったことで好評であった。今後ともやり方を工夫しながらタイムリーに掃除を続けることが望ましい。(加賀野)

◆ 2018年1月4日 (木) 晴れのち曇り 参加者 21名

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
伐採	つつじが丘	ヤシヤブシの伐採	9名	濱野
伐採	外周路	園路沿いの枯れコナラ・マツ・サクラの伐採	6名	吉田
その他	外周路	新たな桜ビューポイント調査	5名	陰山

・伐採 (つつじが丘近辺)

つつじが丘展望所に近く、以前に大きなカスミザクラのあった谷に入り作業をしました。沢山の桜があり、その桜の日当たりを悪くしているヤシヤブシをチェーンソーも使い5～6本伐採、更に斜めに傾い



安全祈願 (隔水亭)

たソヨゴの伐採、倒れてしまった枯れ松の処理などを行ない、初仕事としました。まだ枯れてしまった大きな桜の伐採、ヤシャブシの伐採などがあり、引き続き作業をしたいと思います。（濱野）

・伐採（外周路）

外周路の入口の四辻付近の枯松等処理後、外周路中程にある枯コナラと枯ザクラを処理した。昼食後、園路に枯れ枝を落とす枯大桜（株立 4本）を伐採したが、内 1 本伐採の際、もう少しで、他の作業者に伐採木が当たるところであった。周辺作業員への避難徹底が不十分であったと反省。ただ、この枯桜伐採後、広場と思わせる空間となり満足して作業終了した。（吉田）



急斜面での除伐作業

・外周路～つつじが丘北斜面 新たな桜ビューポイントの調査

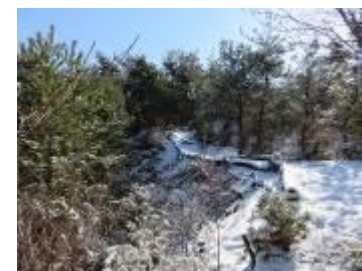
桜のシーズンに園路を歩くとあちこちに桜が咲いているものの、まとまって良く咲いている場所は桜坂ぐらいたし、桜が咲いている山を見わたせる場所も赤松道ビューポイントぐらいなので、「桜の園は看板倒れ」と言われても仕方がないかもしれません。ただ園路からは見えないだけで、場所によっては沢山の桜があり、遠望できたら常緑樹の間に点々と桜が咲く、中々見事な景色になるはずです。園路沿いの視界を遮る木々を伐ると、桜が点在する斜面や尾根が広く眺められる場所「桜ビューポイント」を開拓したいと常々思っていました。今回は数カ所の候補地の内、つつじヶ丘の北斜面と谷奥の大ヤマザクラを眺めるポイントの試験的整備です。急斜面に気を付けながら雑木を除伐して視界を広げました。次の桜の季節にどんな景色が広がるかを見て本格的な整備のプランを作ります。帰る途中で 30 分ほどかけて、大峰道から峡谷を見下ろせる場所「風景ビューポイント」の整備も行いました。（陰山）

◆ 1月11日（木） 晴れ 参加者 17名

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
伐採	つつじが丘	ヤシャブシの伐採	8名	濱野
広場整備	廃線敷桜坂	桜説明板の設置	9名	酒井

・伐採（つつじが丘近辺）

昨日降った雪が解けずに残っており、つつじが丘に近い大きなカスミザクラのあった森へ足元に特に注意を払い登る。作業はチェーンソーを使い枯れ松の伐採からスタート。次に桜の生育に邪魔になる様なヤシャブシを何本か伐採。桜の枝を折ることに躊躇しヤシャブシの枝が桜に掛かったまま残すものもあり。昼の休憩、寒さでゆっくりすると身体が冷える為、食後即作業に掛かる。この森の大きなカスミザクラも枯れてしまい、お礼を籠めて伐採する。しかし残念ながら前面の木に掛かり処理は次回以降としました。帰りも滑りやすくなった山道を注意しながら安全に下山しました。（濱野）



赤松展望所 積雪 3cm

・桜説明板設置

桜説明板とは、桜への興味や櫻守の活動に対する理解をビジターに深めてもらうことを目的に、園内の主な桜やビューポイントに設置するもので、「北摂里山魅力づくり応援事業」の助成を受けて本年度からスタートした新たな作業。本年度は 12 枚の設置を予定している。まずは、親水広場周辺にある笹部桜や荘川桜、西宮権現平桜など 5 枚の桜説明板の設置から始めた。深さ 50 cm 程度の穴を掘り、説明板の支柱を埋めて固定する。本来なら支柱はモルタルで固定するが、桜はアルカリに弱いとのことなのでモルタルは避け、少量のセメントを混ぜた土で埋戻した。当分の間は低温



東屋エドヒガン説明板設置作業



桜説明板（笹部桜）

が予想されるためにセメントの凝固にかなりの日数が必要となるが、その間に支柱が動かされると固定されない恐れがある。もし固定が不完全となった場合は作業のやり直しを行う予定。

午前中に親水広場周辺の設置を終えたので、今度は桜坂に移動して設置作業を行った。桜坂ではヤマザクラとエドヒガンの説明板を4ヶ所に設置して作業を終了した。今後は城ヶ丘、赤松ビューポイント、つつじヶ丘の山並み展望図の3ヶ所で、次回以後に作業予定。(酒井)

ゆずり葉の森

上田 威

1月9日(火) 晴れ一時雪 参加者20名

2018年の初の活動は寒さと強い風の中での幕開けとなった。ご神木の前での安全祈願の後、活動開始。キノコの丘に向かった。ここは数年前にナラ枯れの被害を受けたコナラの伐採跡地だ。その周辺も加えてユズリハの植樹と実生木の育成を予定している。ナラ枯れの被害を受けたコナラの伐採と雑木の除伐、整備を行った。一時は小雪混じりの強い木枯らしの吹く場での作業となった。白瀬川左岸尾根道の枯木の伐採、白瀬川広場周辺広場と花壇の整備も行い午後2時に作業を終了。吹雪の中の直会の後に初日の活動を終えた。



伐倒した枯れコナラの処理



処理を終えた大量の枯れコナラ



ヒサカキの伐採処理

青葉台

上田 威

2017年12月25日(月) 晴 参加者16名

櫻守の会にとっても、今年最後の活動日は穏やかな日となった。3班に分かれて作業を開始。第1班(5名)は数年来対応方法が話題になっていた陽光広場の3本のソメイヨシノの間伐に着手。中央の1本を伐り、両側の2本への陽当りを良くした。第2班(4名)は倉庫裏のヤシヤブシ、ソヨゴなどの伐採を行った。終了後は第1班と合流して光が丘ルート両脇の枯れ松/コナラの伐採処理を行った。第3班(7名)は小林堰堤/東観峰登山ルートを登り、10月の台風により倒れた、根が浮き大きく傾斜したソヨゴ等の伐採処理を行った。この登山ルートは毎年初日の出を拝みに東観峰や岩倉山を目差すハイカーに人気の登山道になっています。通常よりも早めに作業を切り上げ2時から約30分間、全員で賑やかな納会で最後の活動を締めくくった。



残した2本のソメイヨシノ



1年間の安全を感謝しての賑やかな納会

1月16日(火) 晴れ 参加者28名

山手台として今年最初の活動日は、28名と多くの参加がありました。全員で今年1年の安全祈願を行った後、3チームに分かれて作業に入りました。作業内容はどのチームも伐採主体でした。作業後は、例年通りささやかながら直会をおこないました。

また、集合広場の老朽化した1台のベンチに替え、新しく3台設置しました。南斜面では水仙が静かに咲いていました。

1. 里山こみち周辺整備 (10名)

里山こみち右奥が暗い森になっていたため、常緑低木やササの伐採、高枝切りを使用した枝の伐採により明るくしました。その他、集合広場でのベンチの設置、南斜面でのクズ根の掘り起しを行いました。

2. ご神木広場西側の整備 (8名)

ご神木広場西側の谷で、台風による倒木の伐採、桜の景観をよくする伐採、常緑低木の伐採を行いました。

3. アジサイロード・中学校側斜面整備 (10名)

アジサイロード地域では、最近、公園の整備(草刈り、低木伐採、枝の間伐)しかしていませんでしたので、久しぶりに中学校側斜面の常緑低木伐採等を行いました。



集合広場でベンチ設置中



ご神木広場西側で伐採中



アジサイロードで常緑樹を伐採

◆ 1月7日(日) 晴のち曇 参加者23名

少し寒いが新春の活動初日を祝うかのような気持ち良い晴空、23名と多数の会員に参加頂いた。森に向かって安全祈願をした後、2グループに分かれて久しぶりに森林整備に取り組んだ。

1. 塩谷東斜面の森林整備 (塩谷道～北谷) 8名

午前中は斜面全体に散らばり植樹木周りを中心にシダ、イタドリ、の枯草、低木常緑樹の伐採を行った。斜面南東部上部に昨年の台風によると思われるコナラの倒木を発見。ナラ枯れしたコナラだが直径50センチはある大木で枝もしっかり残っており、周りのソヨゴやネジキやヒサカキを道連れにして根こそぎひっくり返し、急斜面でもあり小さな土砂崩れ状態だった。午後からはこれらの倒木の枝を処理したが、大量の枝と更に地上から浮いた枝が多くまだまだ残った状態で作業を終了した。

2. 中央ルート北西側の森林整備 12名

前回整備から6,7年が過ぎて常緑の萌芽やササが伸び放題で奥



今年も 安全第一で作業



中央ルート 常緑樹・枯木伐

が見えなくなっていた地区の整備に取り掛かる。昨年の台風による倒木や枯コナラが目立つが、今回は人力でできる範囲で作業を行った。作業は上下2グループに分かれ、コナラの枯れ枝及びソヨゴ・ヒサカキ等の常緑の除伐作業を谷側に向かい行った。また、実生ヤマザクラ周りの灌木を間伐・剪定して周辺整備した。

3. 広場周りの整備 3名 花壇の土起こしや周辺整備。

◆ 1月20日(土) 快晴 参加者23名

快晴、今回も23名と今年度最多タイの参加者、前回の森林整備を継続した。

1. 塩谷東斜面の森林整備(塩谷道～北谷) (継続) 13名

班を二手に分けて、一班は前回の継続で昨年の台風で倒れたコナラの処理から始めた。今回はチェーンソーを使用して太い枝の解体、鋸での細断をした。二股に分かれた幹は、1本は解体して安定化、1本は斜面に沿わせてそのまま安定化して作業を終了した。根元の幹回りが1.5mあり枝も茂っており、斜面一帯はコナラの枝の山がいくつも出来上がり、8名がかりで午前中いっぱいかかりました。午後は斜面下部で葉の茂ったアラカシ、クスノキ2本、センダンを伐採し日当たり改善をした。

別グループは斜面北側の林の中で、実生や植樹したモミジなどが育ってきたのに合わせて常緑樹を伐採し日照を確保した。アラカシ、ヤブニッケイ、ナナミノキを5本伐採したが、まだまだ暗い。次回も継続する。

2. 中央ルート北西側の森林整備 (継続) 10名

上下作業を避けるため、枯コナラ伐採と桜周りの整備グループに分かれて作業を行った。枯コナラは大径木であったが、比較的緩斜面で周囲も間伐整備されていたため、午前中2本・午後2本伐採(内1本は隣の伐採木の枝に引きずられて根こそぎ倒れた)することができた。又、桜周りの整備はソヨゴ・クスノキ等の常緑の間伐を行い園路から桜がすっきり見えるように整備した。次回も継続し、まず下方向、北谷までを明るくし、ルート入口から明るい斜面が見えるようにしたい。



塩谷斜面 倒木コナラ処理



中央ルート コナラ伐採

<イベント報告>

自然観察会(木々の冬芽、葉痕) 武田尾廃線路にて

山尾 健一郎

1月18日(木) 9:30~12:00 参加者12名

武田尾廃線路入口のオオシマザクラの冬の花芽と葉芽の観察からスタート。ついで、珍しいヤブサンザシの葉芽や赤い実、クマノミズキのペン先のような冬芽、ヤマコウバシの枯葉の根元に隠れた冬芽、芽鱗のない裸芽のアカメガシワ、羊の顔をした葉痕のオニグルミ、冬芽の両側に雪洞のような花芽を付けたアブラチャン、冬芽がネバネバのトチノキなどを観察、その他ツメレンゲやヒメカンアオイの小群落を観察した。



クマノミズキのペン先芽を観察



トチノキのネバネバした冬芽

<お知らせ・案内>

運営委員会報告 (1 月度)

運営委員代表 土井 喜夫

◇日時：2017 年 12 月 22 日 (金) 10:00~12:00

◇場所：ぷらごこむ1 25A 会議室

- 議題：① 2018 年度「櫻守の会カレンダー」を作成した。
各活動地の幹事の意見を取り入れ、全体の行事を追加した。
会員には3月会報発行時に同封する。(メール会員には1月中)
- ② サクラバスツアーのアンケートを参考に検討したが、今年は中止とした。
- ③ 1月13日宝塚 ECO 講座の終了式へ会の PR もかねて出席の依頼があり、代表が出席予定。
- ④ 3月8日北摂里山博物館から助成金活用の事例発表(3グループ)の依頼を受けた。
副代表が出席予定。
- ⑤ プルデンシャル生保からの寄付金を頂いた。(今回で最終回)

公開講座の案内

岡 敏明

公開講座を開催しますので、多数の方の参加をお願い致します。

豊富な里山づくりの経験をふまえた話で、活動の参考になると思います。

日時 2018年2月25日(日) 13:30~16:00

場所 宝塚市立男女共同参画センター・エル 「ソリオ2」・4階

プログラム ①「里山の森づくり」

北摂菊炭のクヌギ林・伊丹昆陽池公園・尼崎21世紀の森

講師 認定NPO法人シニア自然大学校

菊炭クラブ代表 高木 一字氏

②「櫻守の会」活動紹介

参加費 無料

※ 参加受付は各活動地で運営委員が行います。

「櫻守の会ホームページ」のお問合せ欄からも申し込みが出来ます。

(メッセージ欄に会員であることをご記入ください。)

それ以外の方は、岡(携帯 090-5895-4156)までお願いします。

今年の「桜見学バスツアー」を休止します

運営委員会



春のイベントとして数年間「桜見学バスツアー」を実施してまいりましたが、日帰りで見学できる名木・名所はこれまでに殆ど1回以上行っており、ツアーへの参加人数が年々少なくなっていることより、今春の「桜見学バスツアー」を休止することにしました。今年各活動地の桜をじっくり見学してください。

来年以後についてはまだ決めていませんので、ご意見等がありましたら運営委員までご連絡ください。

入会、退会者ともありません。

武庫川エコハイク 第129回 「百間樋を歩く津門川まで」

エコグループ・武庫川

武庫川から西宮への用水路に「百間樋」というのが有ります。
 今回は百間樋ほか甲東地区の水利用の歴史を調べて歩きます。

日時：2月10日(土) 小雨実施

集合：9時30分 阪急今津線「小林駅」改札口出た所

ルート：阪急小林駅前—武庫川新橋—百間樋井堰/取水口—仁川合流—百間樋公園—鯨池浄水場—
 甲武中学/用水路「字三拾六高木村用水取樋」—大市八幡神社—イオン西宮店—
 門戸南今津線—ミニミニ水族館/津門川—阪急西宮北口駅 (歩行約12km・一般向き)

解散：14時30分頃 阪急西宮北口公園

*お問合せ：エコグループ・武庫川 携帯 090-7763-6763 (上田)

URL：<http://ecomukogawa.web.fc2.com/>



< 活動予定 (2月・3月) >

月別行事予定表

2月	場所等	3月	場所等
2月2日(金)	桜の園(亦楽山荘)	3月2日(金)	桜の園(亦楽山荘)
2月4日(日)	武庫山の森	3月4日(日)	武庫山の森
2月6日(火)	ゆずり葉の森	3月7日(水)	ゆずり葉の森
2月12日(月)	桜の園(亦楽山荘)	3月12日(月)	桜の園(亦楽山荘)
2月17日(土)	武庫山の森	3月17日(土)	武庫山の森
2月20日(火)	山手台	3月21日(水)	山手台
2月24日(土)	桜の園(亦楽山荘)	3月24日(土)	桜の園(亦楽山荘)
2月25日(日)	公開講座	3月28日(水)	青葉台
2月27日(火)	青葉台	3月30日(金)	会報印刷
2月28日(水)	会報印刷		

集合時間：桜の園「亦楽山荘」、武庫山の森は、9:50 a.m.

他の3活動地は9:30 a.m.

天候：当日朝6時55分 NHK TV天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも
 降水確率60%以上の時は中止します。

【編集後記】 今年の冬は本当に寒い日が続いています。1月24日(水)は青葉台の活動日で、極寒(大阪の最高気温は3℃)の中で動き回って来て、健康に感謝しようと思っていたら夜から腰が痛くなって来て、ガクッ。考えてみたら丁度1年前にも腰痛で約3ヶ月間休んでいました。年を取ると言う事はこんなことかな。年金の支給開始が遅くなって企業の定年が延長され、櫻守の会への新規入会者の年齢が上がってくることは確実です。大変な時代になってきました。(近藤 茂)